



JAXA 新スパコンについて

現 JSS は平成 21 年 4 月に本格稼働を開始して、5 年以上が経過致しました。JAXA ではこれを契機に、宇宙航空分野での先導的計算科学研究を推進し日本を牽引すべく、数値シミュレーションを発展させるスパコンインフラを整備する目的で JAXA 新スパコンの検討を開始し、調達作業を進めてきました。その結果、2014 年 10 月、2015 年 4 月の

段階的システム導入を経て、2016 年 4 月から 3PFLOPS の計算能力をもつ JAXA 新スパコンが導入されることになりました。

今回は、導入までの経緯と新スパコンの構成について紹介します。

(JSSN 編集班)

1. 導入までの経緯

H23 年度の情報化促進会議において、新スパコンの機構内調整を行うためにスーパーコンピュータ運用・利用分科会を見直し、その所掌業務に次期スパコンの導入を含めることが決定しました。また、JSS の必要性を検討すること、スパコンの直接的な関係者だけでなく幅広く検討すること、スパコンの換装にあたっては CO2 削減に考慮すること、等のコメントがありました。その結果、運用・利用専門委員会、仕様・技術・調達方法他専門委員会、ニーズ・価値専門委員会、動向・制約専門委員会という 4 つの専門委員会を含むスーパーコンピュータ分科会（以下スパコン分科会と呼称する）が構成されました。

23 年度は、2 回のスパコン分科会（専門委員会は 12 回）が開催され、JSS の必要性、CO2 削減方法、ユーザニーズの収集方法などについて熱い議論がなされました。また、24 年度は 3 回のスパコン分科会（専門委員会は 3 回）が開催され、さらに深い議論が進められました。入札作業のある平成 25 年度は、3 回のスパコン分科会（専門委員会は 19 回）が開催され、仕様書の作成、メーカなど

からの質問書への対応、技術提案書の評価方法等の検討が行われました。

一方、入札にかかわるメーカなどに対しては、H25 年 8 月に仕様書原案の説明会の開催、9 月に質問書の受付、11 月に入札公告官報掲載、12 月に入札説明会の開催、H26 年 1 月に技術提案書の提出を経て、H26 年 2 月 28 日に落札業者が決定いたしました。

2. 新スパコンの構成

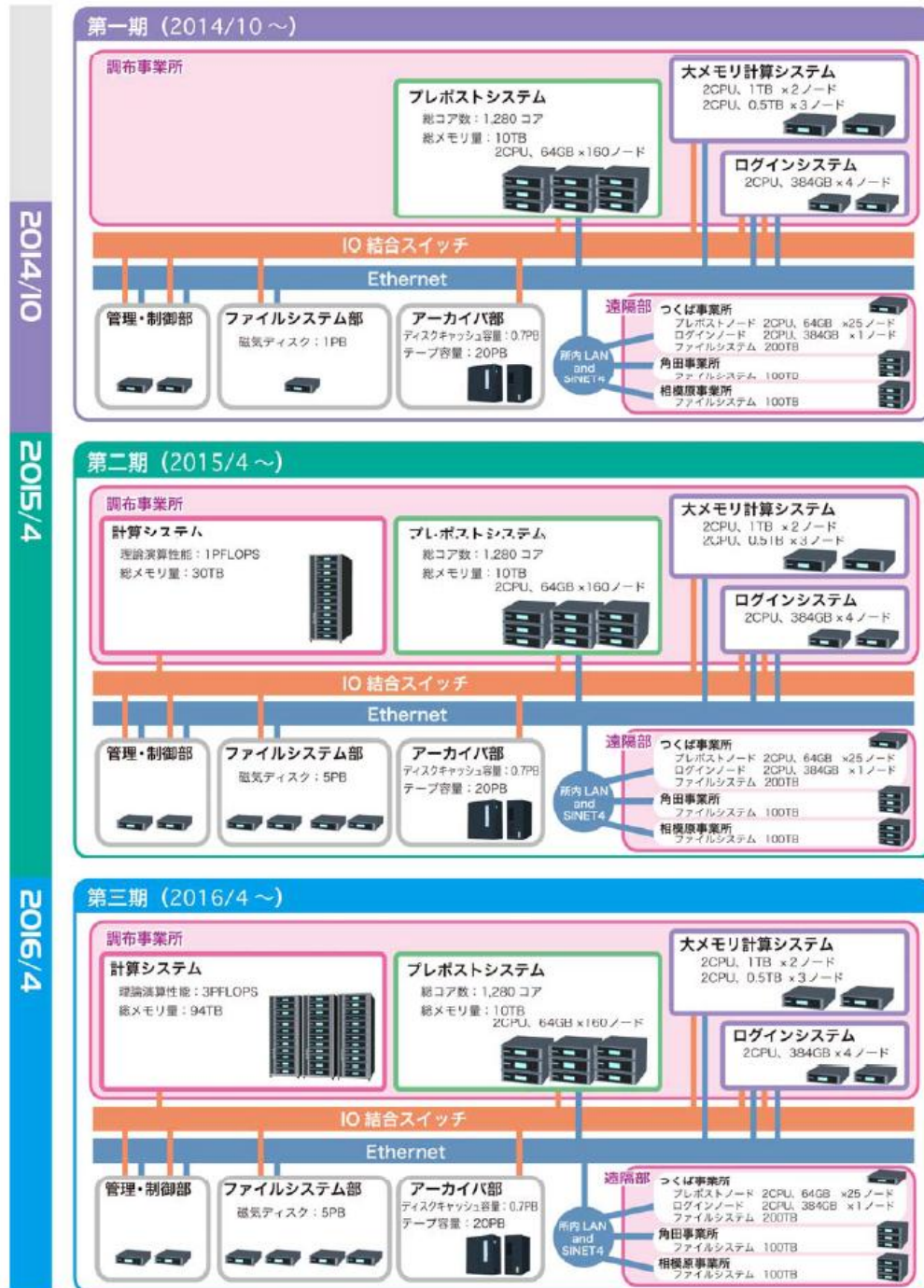
新スパコンは第一期、第二期、第三期と、3 段階に分けて導入されます。以下に、簡単な構成図を示します。

この間、システムの移行状況に合わせて、各種情報の発信、講習会の開催などを的確に行う予定です。また、効率的にデータの移行作業を行うために、ユーザの皆様のご協力をお願いします。

新旧スパコンシステムに対するご要望などがございましたら、JSS 運用窓口 (info@jss.jaxa.jp) までご連絡をお願いいたします。

(JSSN 編集班)

新スパコン システム概要図



JSS に関するお問合せ:

JAXA 情報・計算工学センター

計算機・運用利用技術チーム

JSS 運用窓口 info@jss.jaxa.jp

JSS ポータル <https://www.jss.jaxa.jp/>

☆JSS News は JSS ポータルでもご覧になれます